

マーケットの動き (2020年7月6日～7月10日)

為替市場は、米ドルは対円で下落（円高）しました。
景気回復への期待感と米国南西部の州における新型コロナウイルス感染再拡大への懸念に挟まれ、明確な方向性に欠ける推移となりました。
ユーロは、対円で下落した一方、対ドルで上昇しました。

投資環境見通し (2020年7月)

米ドル、ユーロとも引き続き神経質な動きを予想

米ドル・ユーロ：米国では实体经济に底打ちの兆しがみられるものの、新型コロナウイルスの再拡大が懸念され、FRB議長は景気の先行きに対して慎重な見方を示しています。ユーロ圏ではEUによる復興基金創設を巡り参加国間で意見の対立がみられていますが、ECBがコロナ対策の債券買入れプログラムを拡充するなど景気を支援する姿勢が示されています。米ドル、ユーロ、円ともに短期金利の低下余地が限られる中、当面は各国・地域の経済活動再開のペースや経済復興に向けた政策動向が注目されます。新型コロナウイルスの感染再拡大が警戒される中、引き続き各国の感染者動向に対して神経質な展開が予想されます。

	7月10日	変動幅 (円)			
		前週比	1か月前比	6か月前比	1年前比
米ドル/円	106.76	▲0.87	▲0.49	▲2.81	▲1.80
ユーロ/円	120.83	▲0.02	▲0.91	▲0.93	▲1.30

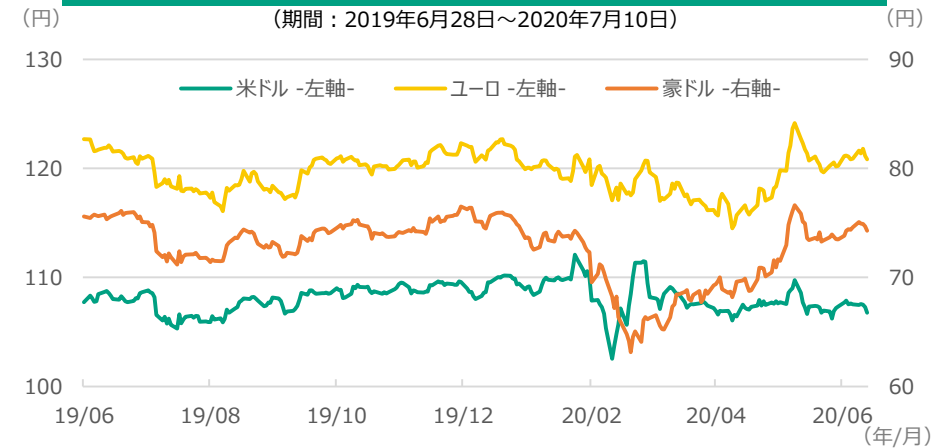
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

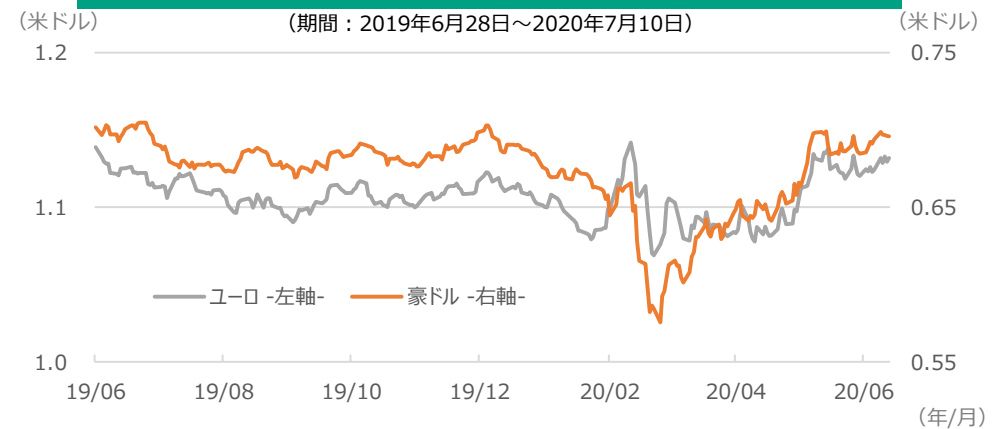
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202007_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

為替レートの推移 (対日本円)



為替レートの推移 (対米ドル)



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成